

「デイサロンぽこ」の活動

カフェぽらん休業日の毎週水曜午前中に、横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業（サービス B）として、元気なシニアの居場所「**デイサロンぽこ**」を開催しています。先月新しい利用者も 1 名加わり、シニア6名とスタッフで、歌、健康体操、季節の作り物、脳トレ、フラワーアレンジメントなどを楽しんでいます。クリスマスには音楽会、年末はしめ縄を使ったリースづくりを行い、誕生会はスタッフの手作りケーキでお祝いするなど、皆で盛り上がっています。

高齢になると外出の機会も減り、人との関わりも少なくなりがちですが、毎週「**デイサロンぽこ**」に通うことで生活にリズムが生まれ、仲間づくりや健康維持にもつながります。スタッフも利用者とおしゃべりすることを楽しみにし、また人生の先輩から学ぶことが多くあります。これからも地域の皆さんが楽しく通って交流できる居場所となるよう、活動を続けていきます。

（荻野 慶子）



フラワーアレンジメント



市民連帯経済つながるかながわ 活動報告

- 協会のみの会員だった NPO 法人ピッピ親子サポートネット、NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ樹が「つながるかながわ」の正会員となりました。生活クラブ運動グループ以外の川崎の NPO 法人フリースペースたまりばが賛助会員となるなど、外への拡がりもできつつあります。

1月末時点会員数：正会員89団体
賛助会員10団体

- 座間市から調査研究事業を受託しました。座間市は内閣府の地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業に応募し、初年度は①アートによる社会参加の創出②啓発のための学習会を実施しました。今年度は、4市（座間市・大和市・海老名市・綾瀬市）における民間支援団体のリスト化およびアンケート調査を行うことになり、この部分を「つながるかながわ」が委託を受けて行いました。

（協会専務理事 兼
つながるかながわ理事 松川由実）

編集 後記



協会の 20 年のあゆみの中で、常に挑戦者であった先輩方が楽しみながら活動してきた様子が目に浮かびました。新しい環境でも目指す方向を失わずに、今日よりも明日はよくなると信じて歩んでいきます！（ゆ）